

2022 年度福島県環境創造センター
人材育成事業企画運営業務提案仕様書

1 委託業務名

2022 年度福島県環境創造センター人材育成事業企画運営業務

2 業務概要

福島県環境創造センターは、原子力災害からの環境の回復と創造に向けた取組みを行う総合的な拠点として整備した施設であり、2016 年 7 月に全面開所した。

当センターでは、放射線に関する正確な理解の促進と福島県の現状を伝える展示施設等を備えた交流棟「コミュタン福島」を活用して、本県の未来を担う子どもたちが「放射線や福島県の環境等について学び、自ら考え、主体的に行動する力」や「本県の状況を適切に理解できる力」を身に付けるための学習支援活動を行うとともに、本県の環境の現状や放射線に関する情報を伝え、ふくしまの未来を創造する力を育むため、環境の回復・創造に関する教育・研修や人材育成にも取り組んでいる。

本業務は、放射線に関する基礎知識を習得し、また、原子力災害を経験した福島の状態を理解するとともに、習得・理解した情報を県内外に向けて発信する能力を向上させることを目的として、交流棟「コミュタン福島」において1年間を通して、県内の学生等を対象とした人材育成事業を実施するものである。

3 契約期間

契約締結の日から 2023 年 3 月 24 日まで

4 業務内容

業務の実施に当たっては、発注者と十分に協議を行うこととする。

(1) 名称

コミュタンサイエンスアカデミア Basic コース <小学生対象>

コミュタンサイエンスアカデミア Advanced コース <中学生対象>

コミュタンサイエンスアカデミア (仮称) SDG s &カーボンニュートラルコース (仮称)
<高校生・大学生等対象>

(2) 目的

ア Basic コース

県内の小学生を対象とし、各種プログラムを通じて、科学への探求心を喚起するとともに、放射線に関する基礎知識を習得し、また、原子力災害を経験した福島の状態を理解することを目的とする。

イ Advanced コース

県内の中学生を対象とし、各種プログラムを通じて、放射線に関する基礎知識を習得し、また、原子力災害を経験した福島の状態を理解するとともに、福島の状態についての情報を外部へ発信する能力を育むことを目的とする。

ウ SDG s &カーボンニュートラルコース (仮称)

県内の高校生以上を対象とし、各種プログラムを通じて、地球温暖化問題や SDG s、カーボンニュートラルなど環境を巡る世界的動向に関する、知識等を習得するとともに、習得した知識を踏まえて、他者に伝える体験をとおして、伝える・伝わる力を身につけることを目的とする。

(3) 対象

ア Basic コース

福島県内の小学校に在籍又は福島県内に在住する全ての小学生のうち4年生以上

- イ Advanced コース
福島県内の中学校に在籍又は福島県内に在住する全ての中学生
- ウ SDG s &カーボンニュートラルコース (仮称)
福島県内に在住する高校生以上

(4) 定員

Basic コースを 40 名 (20 名×2 コース) 程度、Advanced を 20 名程度、SDG s &カーボンニュートラルコース (仮称) 20 名程度とする。

ただし、全開催日のうち 8 割以上の日数の出席が可能であることを条件とする。

5 実施内容

新型コロナウイルス感染症の感染状況等やむを得ない事情により、規模を縮小して実施する可能性があることに留意すること。

(1) 基本事項

ア 開催期間及び回数

- ・Basic コース：2022 年 5 月 1 日から 2023 年 3 月 12 日までの間で 12 回程度
- ・Advanced コース：2022 年 5 月 1 日から 2023 年 3 月 12 日までの間の連続する 6 か月間のうちで 6 回程度
- ・SDG s &カーボンニュートラルコース (仮称)：2022 年 5 月 1 日から 2023 年 3 月 12 日までの間の連続する 6 か月間のうちで 5 回程度の講座に加え、Basic・Advanced コースの受講生への発表会等を実施する回を 1 回程度設けること。
※ Basic コースは 2 コースを同日に開催することを基本とすること。

イ 会場

コミュタン福島を基本とするが、実施する内容が人材育成事業の目的を効果的に達成できると認められる場合には、コミュタン福島館外での実施も可能とする。

ウ 備品等

活動に当たり、発注者から貸与可能な備品は別紙 1 を参照すること。

なお、貸出の不可及び貸出可能数については、当日の体験研修やイベント等によって変動する可能性がある。

(2) 企画の立案、実施計画書の作成

(3) 講師の選定及び依頼

(4) 参加者募集 (広報媒体の作成・印刷・配布等)

(5) 実施準備 (会場確保、会場設営、講義資料・メンバー証・学習ノート・修了証及び記念品の作成、アンケートの作成・集計、保険加入、バス手配、備品調達等)

(6) 当日の進行管理 (司会、ファシリテーションを含む) 及び記録、情報発信 (ホームページ、SNS の管理運営を含む)

(7) 講座外におけるフォローアップ (講座を休講した参加者、進捗が遅れている参加者等)

(8) 新型コロナウイルス感染症対策

(9) 成果のとりまとめ、報告

(10) 過年度受講者の追跡調査

6 提案内容

受注者は上記 2～5 を踏まえ、以下の項目について提案し、発注者と協議の上実施すること。

(1) 業務実施体制

業務内容及び提案内容を円滑に企画運営できる実施体制について提案すること。

(2) 講師

年間を通して講座を指導する講師等を選定し、提案すること。

なお、SDG s &カーボンニュートラルコース (仮称) については、受講対象者である高校生や大学生等の学習水準に合った講師を提案すること。

(3) カリキュラム (Basic コース)

必須プログラムは次のとおりとするほか、Basic コースの目的を効果的に達成できると認められる内容について自由に提案すること。

また、開催日時についても、コミュタン福島の開館日・開館時間、小学校の夏季・冬季休業期間等を踏まえて、併せて提案すること。

詳細については、受注者の提案を基に発注者と別途協議するものとする。

<必須プログラム> (Basic コース)

- ・ 科学実験等 (3回以上)
 - ※ 放射線等に関する簡単な科学実験等の体験メニューを3つ以上提案すること
- ・ 放射線や福島の状況に関する学習
- ・ 環境保全等に係る親子活動
- ・ 成果発表会
- ・ 修了式

(4) カリキュラム (Advanced コース)

必須プログラムは次のとおりとするほか、Advanced コースの目的を効果的に達成できると認められる内容について自由に提案すること。

また、開催日時についても、コミュタン福島の開館日・開館時間、中学校の夏季・冬季休業期間等を踏まえて、併せて提案すること。

詳細については、受注者の提案を基に発注者と別途協議するものとする。

<必須プログラム> (Advanced コース)

- ・ 放射線や福島の状況に関する学習
- ・ 調査研究課題の選択、とりまとめ
 - ※ カリキュラムを踏まえた調査研究課題の例を10案以上提案すること
- ・ 成果発表会
- ・ 修了式

(5) カリキュラム (SDG s &カーボンニュートラルコース (仮称))

必須プログラムは次のとおりとするほか、SDG s &カーボンニュートラルコース (仮称) の目的を効果的に達成できると認められる内容について自由に提案すること。

また、開催日時についても、コミュタン福島の開館日・開館時間等を踏まえて、併せて提案すること。なお、「コミュタンサイエンスアカデミア SDG s &カーボンニュートラルコース」の正式名称についても提案すること。

詳細については、受注者の提案を基に発注者と別途協議するものとする。

<必須プログラム>

- ・ 地球温暖化やSDG s、カーボンニュートラルなどに関する学習
 - ※ カリキュラムを踏まえた具体的な内容を3案以上提案すること
- ・ 発表の技術の専門家による指導
- ・ Basic・Advanced コースの受講生へのアドバイス・発表会等の実施
- ・ 修了式

(6) 聴講生

Basic コースについては、事前に応募のあった参加者に対し、YouTube 配信等により科学実験の講座の様子を聴講及び体験することができるようにすること。具体的な内容、方法及び聴講生の活用については提案すること。

(7) 成果発表会

人材育成事業の目的を効果的に達成できると認められる内容について自由に提案すること。

詳細については、受注者の提案を基に発注者と別途協議するものとする。

(8) 参加者特典

参加者の参加意欲・学習意欲を向上させるようなメンバー証、学習ノート及び記念品について、具体的に提案すること。

また、その他魅力的な特典があれば併せて提案すること。

(9) アンケート

開催回ごとに実施するアンケートの内容について提案すること。なお、参加者の成長や意識変化、人材育成事業の課題や成果等が分かる調査項目とすること。

(10) 広報宣伝方法

【参加者募集】

人材育成事業の開催を対象者の家庭に広く周知し参加を募る方法について、具体的に提案すること。

また、応募者が定員を超過することが想定される場合、参加者を選定する方法についても併せて提案すること。

【成果発表会周知】

成果発表会の開催を学生のいる一般家庭及び福島県内の教職員に広く周知し参加を求める方法について、具体的に提案すること。

【その他】

提案内容の中に、人材育成事業参加者以外の者に広く参加を求める内容がある場合には、その周知方法等について、具体的に提案すること。

7 業務実施体制

(1) 本事業に関わる責任者及び担当者については、事業開始前に書面にて報告すること。

なお、本事業の趣旨、内容を十分に理解し、かつ、業務遂行に必要な知識・能力・経験を有する要員を配置すること。

(2) 本業務の企画運営スケジュールの管理を適切に行うこと。

(3) 発注者と随時打合せを重ね、無理のないスケジュールで進めることができるよう努めること。

(4) 本仕様書に定めのない事項や疑義が生じた時は、双方協議の上、決定するものとする。

ただし、明示のない事項にあっても、社会通念上当然必要と考えられるものについては、本業務に含まれるものとする。

8 著作権

(1) 委託事業の実施に伴う著作権の権利は、原則、発注者側に帰属するものとする。

(2) 印刷物等に使用される素材等について、他者の著作権その他権利が及ぶものを使用する際は、権利者より事前に二次使用を含めた使用の許諾及び事後において権利の主張を行わない旨の許諾を得るものとする。

9 提出書類

(1) 業務着手届（様式第1号）

※工程表、責任者・担当者一覧を添付すること。

(2) 成果品等

ア 業務完了届（様式第2号）

イ 事業実施報告書

（ア）講座の開催日ごとに作成すること。

（イ）開催した講座の模様を記録した写真データをDVDで納品すること。

（ウ）提出は、講座の開催日ごとに、終了後30日以内に提出すること。

ウ 製作物及び関係するデータ

PDF 形式又は JPEG 形式データを DVD で納品するほか、見本品を複数納品すること。

(3) 提出先

福島県環境創造センター

10 その他

- (1) 業務の実施に必要となる経費（会場費、機材費、材料費、旅費・謝金、資料作成費、郵送料、印刷費、保険料等）は契約金額に含まれるものとし、発注者は契約金額以外の費用を負担しない。
- (2) コミュタン福島を使用する際の会場費は無料とする。
- (3) 必要な資料及び情報の収集等は業務に含まれる。
- (4) 業務に係る記録については、HP や報告書等で外部公表する可能性があるため、関係者から事前に了承を得ておくこと。
- (5) 業務の実施に当たり、知り得た内容を第三者に漏らしてはならない。

様式第1号

年 月 日

福島県環境創造センター所長

受注者 住 所
名 称
代表者 印

業務着手届

年 月 日付けで契約を締結した下記委託業務について着手したので、届け出ます。

記

1 委託業務の名称
2022年度福島県環境創造センター人材育成事業企画運営業務

2 契約金額
円
(うち、取引にかかる消費税及び地方消費税額 円)

3 委託の期間
着 手： 年 月 日
履行期限： 年 月 日

4 着手年月日
年 月 日

様式第2号

年 月 日

福島県環境創造センター所長

受注者 住 所
名 称
代表者 印

業務完了届

年 月 日付けで委託契約を締結した業務について、下記のとおり完了したので、成果品を添えて報告します。

記

1 委託業務の名称
2022年度福島県環境創造センター人材育成事業企画運営業務

2 契約金額
円
(うち、取引にかかる消費税及び地方消費税額 円)

3 委託業務の着手及び完了年月日
着手： 年 月 日
完了： 年 月 日

4 成果品等
報告書、制作物及び記録データ等 (別添のとおり)